

高等学校・地域における日本語指導・支援に関するヒアリング

青少年多文化学びサポート（ESMY）

報告者 持丸邦子

1 学校・団体の概要

学校・団体名	青少年多文化学びサポート（ESMY）
	団体の場合 主な事業内容（日本語教室／進学・進路支援／学校派遣：小中高／支援者研修） 規模（所属スタッフ人数など）（会員63名 うち支援者 約50名）
住所	埼玉県所沢市山口57-121 持丸方
代表・連絡先	持丸邦子（090-9675-1286）
ウェブサイト等	https://opencity.jp/tokorozawa/pages/gp/esmy_2020/

2 指導・支援対象の生徒について

- (1) 人数 10名
- (2) 言語文化背景 ベトナム／フィリピン／中国／ネパール／パキスタン／パラグアイ／オーストラリア
- (3) 滞日期間 11年～1年半
- (4) 来日理由（在留資格も含めて） 家族滞在

3 指導・支援体制について

- (1) 外国人生徒等の教育／支援に携わっている方の指導・支援内容・立場・人数
入門日本語・教科学習支援・日本語能力試験の学習支援／ボランティア／
- (2) 組織内・外の指導・支援の仕組み・組織
組織内：対面教室（小中学生と一緒に）／オンライン支援／大学見学
組織外：対面教室（高校で）

4 ご報告くださる取り組みについて

- (1) 目的 ①日本語力の向上②進路への関心拡大
- (2) 取り組み 実施期間、内容、
①学校での支援：学期期間中／地域日本語教室：年間を通じて
②常に進路の質問／大学学園祭の参加10月／大学・専門学校見学：3月予定
- (3) 成果と課題
成果 ①熱心な生徒の日本語力向上：N2合格／科目の理解が進む
②高校卒業後の進路への関心拡大：大学や専門学校入試への関心⇒入試制度の検討・志望校の決定（高校2年生）
課題 ①授業開始前の時間帯のため、アルバイトが忙しくなると来なくなった。
②参加の呼びかけに躊躇する生徒が多い。交通費の自己負担をほぼ0にすることで参加促進中。